

## 平成 30 年度 履修生への活動支援について

文部科学省からのリーディングプログラムへの補助金が減額されたことにより、これまで継続してきた以下の活動支援は当面停止する。

- 履修生研究活動支援金(履修生支援金)
- 海外短期渡航(旅費)支援
- 教員主導融合研究経費

上記の活動支援の制限を補てんするため、次の活動支援を詳細検討後開始する。

- ◆ **【履修生・指導教員 研究活動経費】※**  
履修生の専門・融合研究を支援する研究経費支援（履修生の指導教員に執行委任）  
年度当初予算       ： 400 万円

予算の調整を継続して行い、さらに支援の目処がたてば、申請ベースでかつ上限額などルールを設定のうえ、次の支援を再開する。

- ◆ 海外短期渡航(旅費)支援
- ◆ 国内出張(旅費)支援

### ※ **【履修生・指導教員 研究活動経費】(概案)**

年度当初予算   ： 400 万円  
許可経費        ： 履修生本人の出張費(国内)、物品費(6 期生のみ PC 可)、図書費  
申請額上限      ： 二～五期生 10 万円、六期生 20 万円

- ＜申請＞ 履修生(個人)単位での申請を基本とし、指導教員を執行・管理責任者とする。
- ＜審査＞ 4 月に申請を受け付け、審査のうえ採択数で予算を割り振り交付額を決定して、指導教員に執行を委任する形で実施する。
- ➔ 採択の方法、数について、及び予算の割り振り方についてはプログラムコーディネーターと特任教員に一任するものとする。
- ＜執行＞ 5 月頃から指導教員へ予算を配布、(物品は 12 月末までに執行完了)

※ 秋頃までに予算調整にて増額が可能となれば、採択者への追加予算申請と新規申請を受け付ける。